

## Arcserve Unified Data Protection (Arcserve UDP) ライセンスキー登録方法

### もくじ

#### ライセンスキー登録について

- A. Arcserve UDP エージェント(Windows)ライセンス登録方法
- B. Arcserve UDP コンソールからのライセンス登録方法
- C. Arcserve UDP エージェント(Linux)ライセンス登録方法

本ドキュメントの対象製品

Arcserve UDP v5

---

### ライセンスキー登録について

正規登録製品としてご使用いただくには、ライセンスキーの登録が必要です。

※本製品のライセンスキーおよびパッケージは、紛失されても再発行できません。

大切に保管してください。

#### 【注意事項】

※製品版のライセンスキー登録が行われない場合、30 日間のトライアル期間となります。

30 日間のトライアル期間が終了するとライセンスエラーとなり、製品が利用いただけなくなりますのでご注意ください。

トライアル期間中またはトライアル期間終了後、製品版のキーをご登録いただきますと、製品版として継続利用が可能です。

製品のご購入につきましては[ジャパンダイレクト](#)までご相談ください。

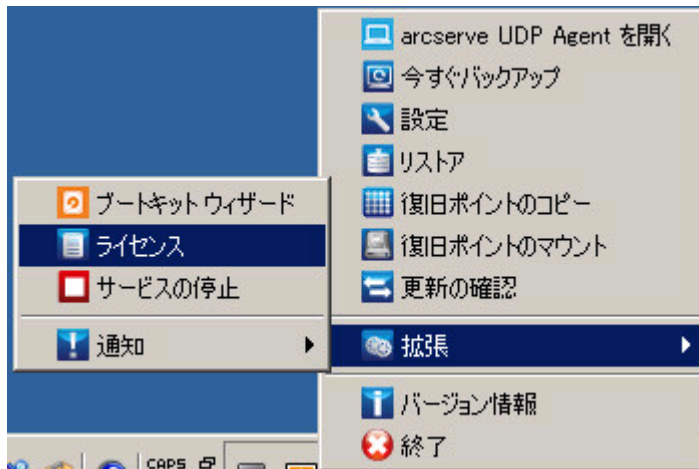
※Arcserve UDP v5 に付属の Arcserve Backup や Arcserve Replication / High Availability のライセンス登録につきましては下記ページより各製品のライセンスキー登録方法のご案内をご参照ください。

#### ◆製品のライセンス方法のご案内

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/licensing.aspx>

## A. Arcserve UDP エージェント(Windows)ライセンス登録方法

- (1) 製品導入後、管理者権限のあるユーザでログインし、タスクトレイ上の UDP アイコンの右クリックメニューから[拡張]メニューを展開し、[ライセンス]を選択します。



※上記以外に「CA\_LIC ディレクトリ」にある「CAlicnse.exe」を実行すると同様にライセンスキー登録画面を呼び出す事が出来ます。

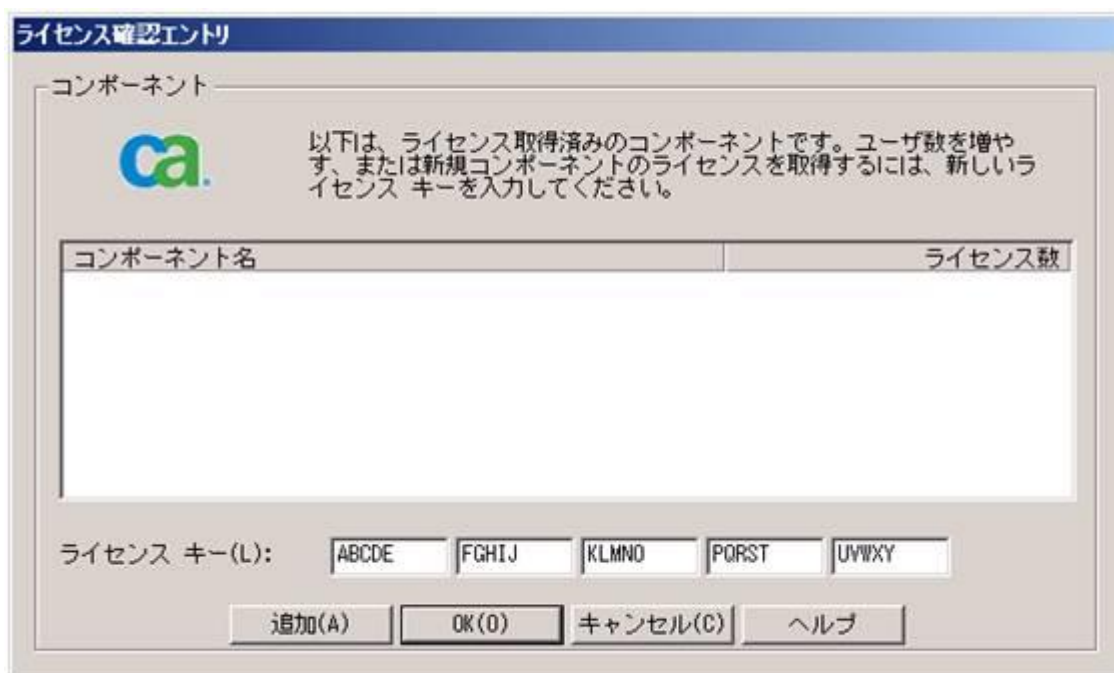
「CA\_LIC ディレクトリ」は通常下記のパスに存在します。

<%SystemDrive%\Program Files\CA\SharedComponents\CA\_LIC>

64bitOS の場合

<%SystemDrive%\Program Files (x86)\CA\SharedComponents\CA\_LIC>

- (2) [ライセンス確認エントリ] 画面が表示されます。



- (3) ライセンス キーの項目へ 25 桁のライセンス キーを登録します。

※ カット アンド ペーストによる入力も可能です。

※ライセンスキーがArcserve UDP用であることを確認してください(登録は必須)。

併記されている **Arcserve Backup r16.5 for Arcserve UDP** はUDPでバックアップしたデータをテープへバックアップする際に利用する Arcserve Backup用のライセンスです(登録は任意)。

(4) 入力完了後、[追加]をクリックします。

ライセンス確認エントリ

コンポーネント

 以下は、ライセンス取得済みのコンポーネントです。ユーザ数を増やす、または新規コンポーネントのライセンスを取得するには、新しいライセンス キーを入力してください。

コンポーネント名	ライセンス数
CA ARCserve Backup r16.5 for CA arcserve UDP	1
CA arcserve UDP v5 Standard Edition - Socket	1

ライセンス キー(L):

追加(A) OK(O) キャンセル(C) ヘルプ

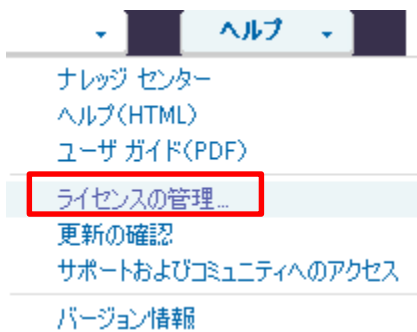
(5) 登録した[コンポーネント名](製品名)と、[ライセンス数]を確認し、[OK]をクリックし画面を閉じます。

(6) 再度登録画面を呼び出していただけると、ご利用可能なライセンス情報が表示されます。

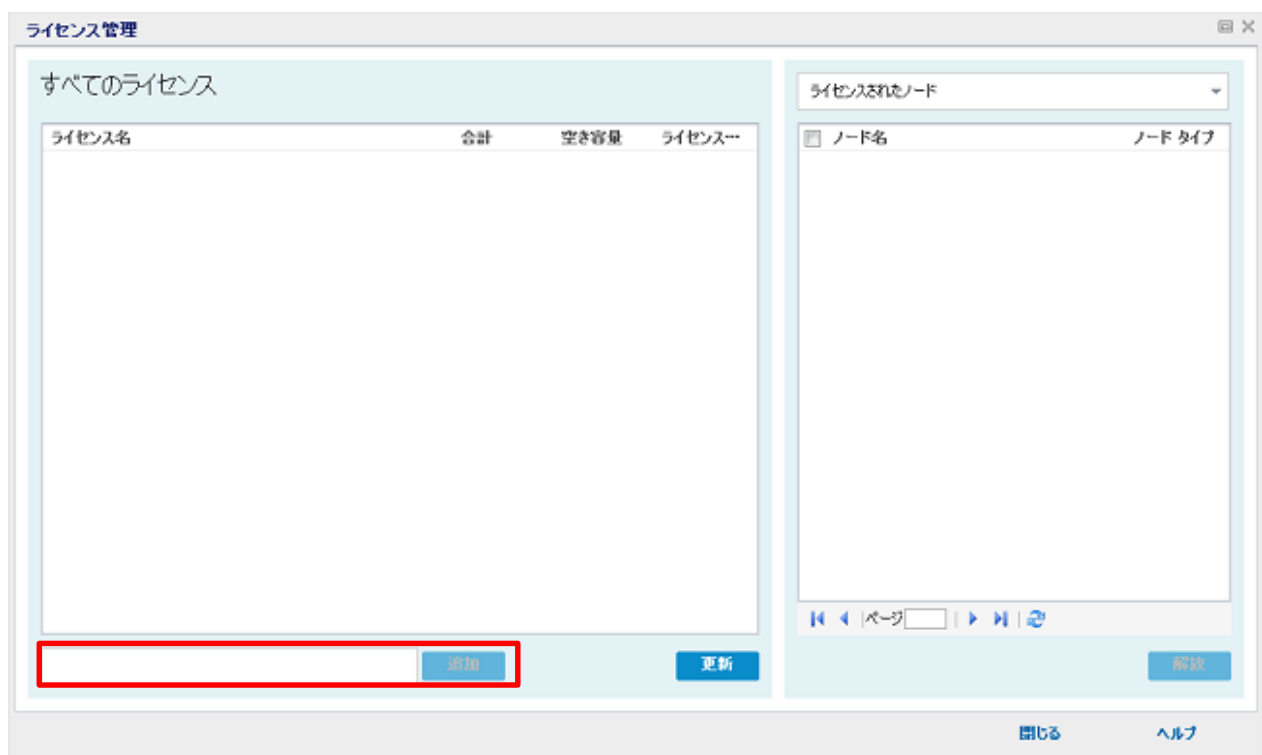
## B. Arcserve UDP コンソールからのライセンス登録方法

UDP 管理コンソールを使用してライセンスの統合管理を行う場合は、管理コンソールが導入されているマシンでライセンス登録を行ってください。

- (1) 管理コンソール画面の[ヘルプ]、[ライセンスの管理]の順にクリックし、[ライセンスの管理] 画面を表示させます。



- (2) [ライセンスの管理] 画面に 25 桁のライセンス キーを入力し、[追加]をクリックします。  
※ カット アンド ペーストによる入力も可能です。



※本画面からは Arcserve UDP のライセンスキーのみ登録できます。

Arcserve Backup r16.5 for Arcserve UDP (UDP でバックアップしたデータをテープにバックアップする際に利用します) のライセンスは本画面からは登録できませんので、先述の CAlicnse.exe からご登録ください。

- (3) 入力完了後、[追加]をクリックし、[ライセンス管理] 画面を閉じて、再度開きます。  
ライセンスが追加され、[すべてのライセンス]に追加されていることを確認します。

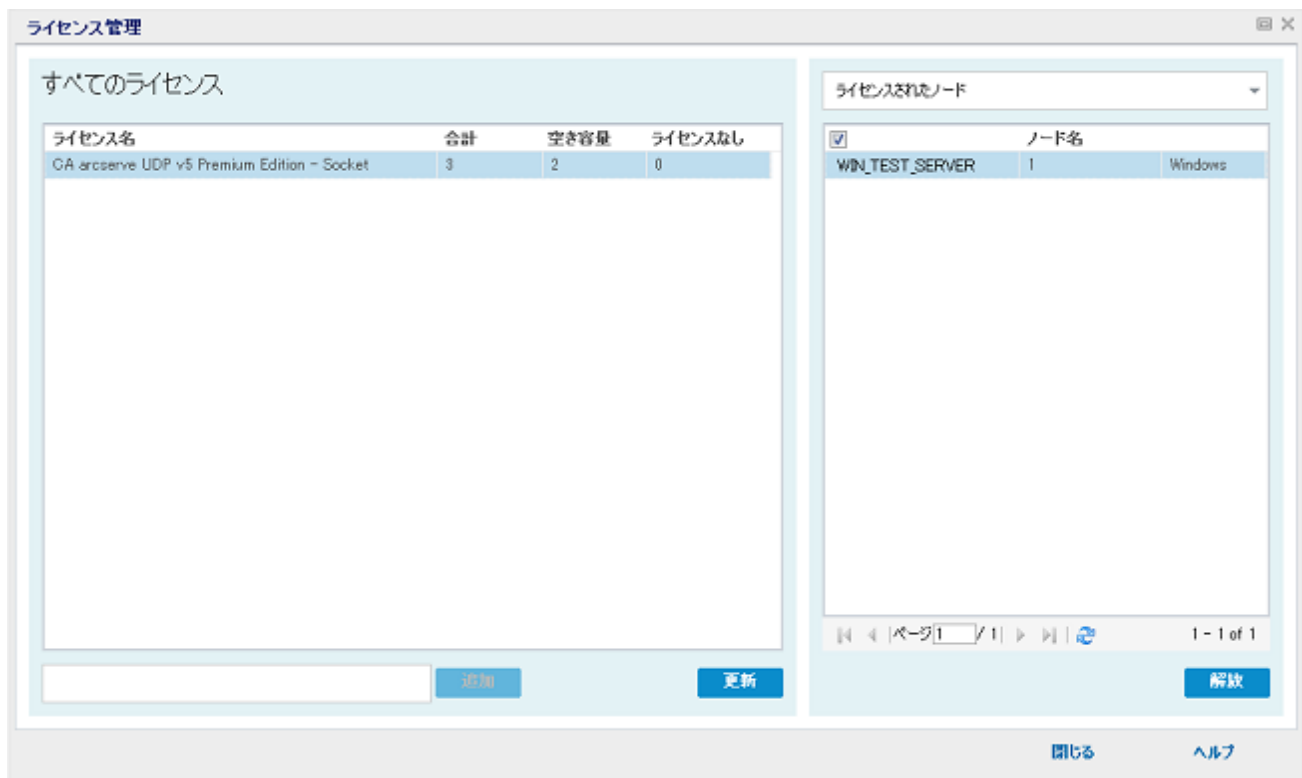
※ライセンスされたノードに、ノード名が表示されないことがありますが、実際に該当のノードのジョブを実行  
いただくとリストに表示され割り当て状況が更新されます。

これは、実際にジョブを実行し割り当てられたノードが表示される仕様のためです。

### ライセンスの解放について

[ライセンス管理] 画面ではノードに対して割り当てられたライセンスを解放する事が出来ます。

解放されたノードのライセンス割り当ては解除され、別のノードに対してライセンスを再利用する事が出来ます。



※[ライセンス管理] 画面に関する詳細は、下記 製品マニュアルをご参照ください。

【製品マニュアル】 Arcserve Unified Data Protection 5.0 ソリューション オンライン ヘルプ

- [Arcserve UDP ライセンスを管理する方法](#)
- [ライセンスの追加](#)
- [ライセンスの解放\(ライセンスの削除\)](#)

### C. Arcserve UDP エージェント(Linux)ライセンス登録方法

- (1) Arcserve UDP エージェント(Linux) Web インターフェースにログインします。
- (2) [ヘルプ]-[ライセンスの管理]をクリックします。

[ライセンス管理]画面が表示されます。

ライセンス管理

マシンからライセンスを解放するには、最初にライセンスを選択し、次にライセンスされたマシンを選択して [解放] をクリックします。

ライセンス ステータス		ライセンス		
コンポーネント名	バージョン	ライセンス		
		アクティブ	利用可能	合計
CA arcserve UDP v5 Basic	v5	3	0	0

ライセンスされたマシン

<input type="checkbox"/>	バックアップ サーバ	ライセンスされたマシン	仮想マシン
<input type="checkbox"/>	Backup Server 1	Node 1	
<input type="checkbox"/>	Backup Server 1	Node 2	
<input type="checkbox"/>	Backup Server 1	Node 3	

3件中 1-3件を表示 | ページ 1 / 1

ライセンス キー

キーの形式: XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX

- (3) [ライセンス キー]フィールドにライセンス キーを入力し、[追加]をクリックします。
- (4) [ライセンス管理]画面を閉じて、再度開きます。

ライセンスが追加され、[ライセンス ステータス]領域にリスト表示されます。

※[ライセンス管理]画面についての詳細は 下記 製品マニュアルをご参照ください。

【製品マニュアル】 Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux オンライン ヘルプ  
[ライセンスを管理する方法](#)